

# 付着生物(ユウレイボヤ等) ラーバ情報

平成28年11月5日～7日に陸奥湾3定点で付着生物(ユウレイボヤ等) ラーバ調査を行ったので、その結果をお知らせします。

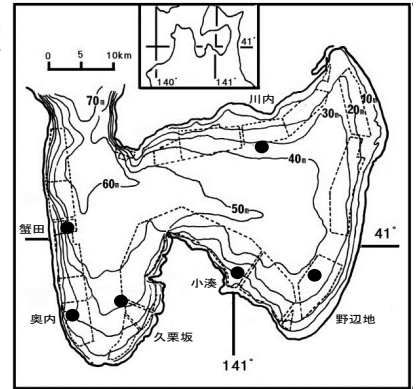


図1 ラーバ調査地点

## 1 ラーバ等の出現数

### (1) ユウレイボヤ

各地点ともラーバは見られませんでした(表1、図2)。

### (2) ムラサキイガイ

ラーバは11月5日に小湊沖で83.8個/トン、11月7日に久栗坂沖で55.6個/トン、川内沖で4.7個/トン見られました(表1、図3)。

### (3) オベリア類(クサ)

オベリア類(クサ)のクラゲは見られませんでした(表1)、10月17日～11月7日まで久栗坂沖、川内沖に垂下した付着基質に全長約3mmのオベリアの未成熟体が付着していました。

### (4) その他

ザラボヤ、キヌマトイガイ(コメガキ)のラーバは見られませんでした。

表1 ラーバ等の出現数

調査地点	調査月日	ユウレイボヤ	オベリア類	ムラサキイガイ
久栗坂沖	H28.11.7	0.0	0.0	55.6
小湊沖	H28.11.5	0.0	0.0	83.8
川内沖	H28.11.7	0.0	0.0	4.7

※久栗坂・川内沖は実験漁場内

単位:個/トン

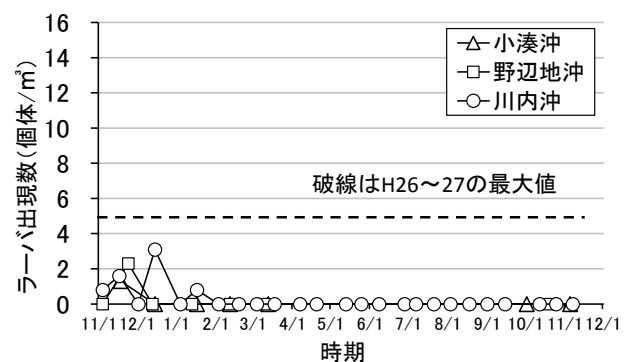
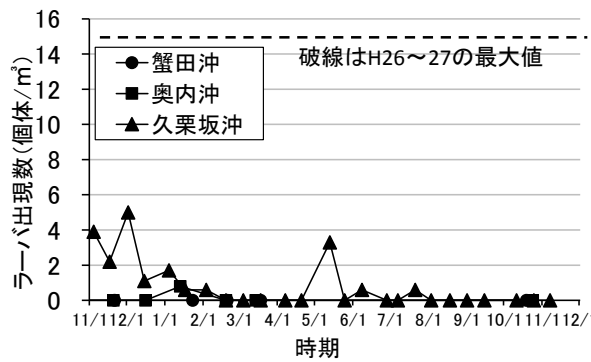


図2 ユウレイボヤラーバ出現数の推移(平成27年11月～平成28年11月)

## 2 水温の状況

各ブイ中層の11月9日の日平均水温は、表2のとおりです。

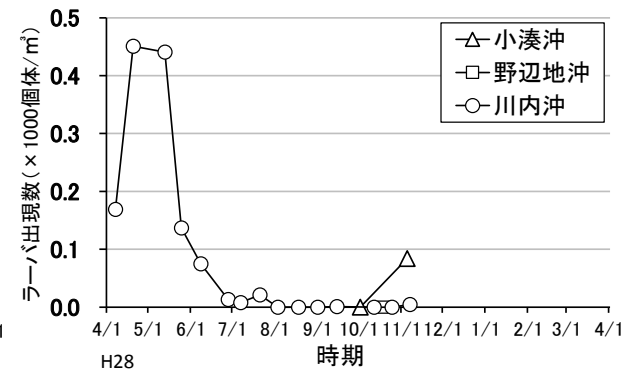
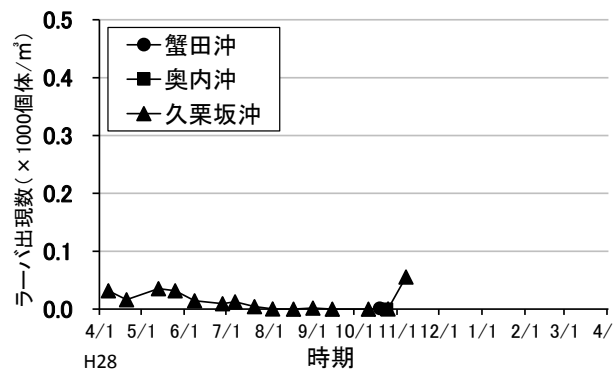


図3 ムラサキイガイラーバ出現数の推移(平成28年4月～11月)

## 3 今後の見込み

### (1) ユウレイボヤ

水温が20℃以下に低下すると産卵しますが、現在、陸奥湾内の中層水温が13～15℃台まで低下したにもかかわらず、依然としてラーバが見られないことから、分散済みの籠への今秋の付着は少ないと思われます。

### (2) ムラサキイガイ

久栗坂沖、川内沖で小型のラーバがわずかに見られてきましたが、掃除した耳吊りや、入れ替えした籠への今秋の付着は少ないと思われます。

### (3) その他

オベリア類(クサ)やキヌマトイガイ(コメガキ)の付着は年明けになるものと思われます。

表2 各ブイ中層の日平均水温

観測地点	水温(℃)	観測地点	水温(℃)
平館ブイ	15.5	東田沢ブイ	14.1
蓬田ブイ	14.6	野辺地ブイ	13.0
奥内ブイ	14.5	横浜ブイ	13.2
青森ブイ	14.4	浜奥内ブイ	13.1
浦田ブイ	14.5	川内ブイ	13.7
		東湾ブイ	14.0

※平館、青森、東湾は15m層、それ以外は10m層

発行元: 地方独立行政法人  
 青森県産業技術センター 水産総合研究所  
 住所: 青森県東津軽郡平内町大字茂浦字月泊10  
 TEL: 017-755-2155 FAX: 017-755-2156

水産総合研究所ホームページURL: <http://www.aomori-itc.or.jp/index.php?id=2184>

ホタテガイ採苗速報 携帯電話用QRコード(①)  
 海ナビ@あもり 全モバイル端末共用QRコード(②)

